

季節の花だより



● 大根島の寒牡丹

中海に浮かぶ大根島は、島根の県花・牡丹の産地です。その始まりは約三百年前。全隆寺の住職が遠州(静岡県)の秋葉山へ修行に訪れたとき薬用として持ち帰り、境内に植えたのが最初だと伝えられます。その品種はいまでは二百数十種、年間180万本、日本一の苗木の生産・出荷数を誇ります。島全体が牡丹の花一面となる初夏の花も良いですが、こも掛けのこの季節、寒い冬に背をのばして美しく咲く「寒牡丹」には、実に凛とした気品が感じられます。

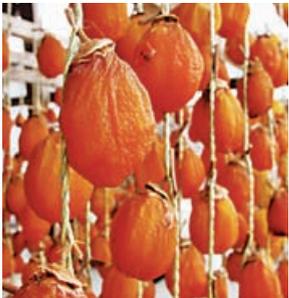
● 日本庭園由志園(松江市) 牡丹焚火会

11月23日 10:00点火
(由志園内 寒牡丹庭園付近)

冬近い大根島、日本庭園由志園において、牡丹の枯れ枝を焚き、全隆寺のご住職に読経していただきながら、来年も大輪の美しい花が咲くことを願って牡丹供養が営まれます。ふるまい酒、赤貝汁サービスもあって、この日から寒牡丹のこも掛けも始められます。

- 入園料/大人600円・中人300円
・小人200円
団体割引(20名様以上)550円
- 問い合わせ/TEL.0852-76-2255
剪定木は無料配布
<http://www.yuushien.com/>

季節の味だより



● 山里で磨かれた芸術品 東出雲の干し柿

晩秋の山里に赤い柿のすだれ……。この独特な光景の見られる東出雲の畑地区は、江戸時代中期から干し柿の産地として名を知られ、柿色一色の景観は「第5回美しい日本のむら景観コンテスト」(平成9年3月)で優秀賞を受賞しているほどです。色、味、大きさの三拍子が揃った、糖度日本一とも言われる「秋の味覚の王様」は、ビタミンC、カリウム、ペクチンを多量に含みナトリウムを体外に排出させ、風邪の予防や二日酔いにも良いと言われています。

● 山陰のうわさの珍味 「亀の手(カメノテ)」

萩地方では鷹の爪とも呼ばれるこの食材、島根半島では「亀の手」。でも実際には亀の手でも鳥の爪でもありません。磯の岩の隙間にびっしりと並んで張り付いているフジツボに近い仲間です。塩茹でにすると高級珍味として最高の酒の肴となり、味を例えるならカニとエビの味を混ぜて濃くしたような風味で、地元では肝臓に良い食品として知られています。



● 山陰の冬の味覚・・・と言えば、 津田かぶ漬け

稲ハデに架けられた津田かぶの、赤と緑との鮮やかなストライプ。出雲に八百万(やおよろず)の神々がお集まりになる頃、津田かぶは、色、形、味ともに最高の旬を迎えます。その名は江戸時代、津田村(現在の松江市津田地区)にあった松江藩の菜園場に、江州(現在の滋賀県)の日野菜を移植したことに由来し、形はまるで勾玉のように、外皮は鮮やかな赤紫色で中は白く、切り口の白と赤のコントラストは津田かぶが独特のもので、食感と風味も独特で、浅漬け、ぬか漬け、干枚漬けなど、多様な漬け方で味わうことができます。

とっとり花回廊

TEL.0859-48-3030

● シクラメン・クリスマス

12月3日(土)~25日(日)まで



園内に展示されるシクラメンやポインセチアがクリスマスを彩ります。シクラメンの展示会や趣味の園芸でおなじみの育種家矢澤秀成先生のシクラメン講演会も開催。また、土日、祝日は夜8時半まで営業。ロマンチックな夜のライトアップ、ムーンライトフラワーガーデンがクリスマスムード満点で登場します。23日~25日にはクリスマスコンサートもお楽しみいただけます。

展示会情報

- 夏休みサイクルアイデア作品展 **12月1日~23日まで**
場所/ゆりの館ギャラリー
- シクラメン展示会 **12月19日~25日まで**
場所/フラワードームギャラリー

展覧会 Pick up!

素鳳ふるさと館で注目の作品展!!

■ HITSUDAわーるど×2 ~神話とおとぎ草子~

11月9日(水)~12月11日(日) 素鳳ふるさと館



伝説やおとぎ話をテーマとした創作人形と、日本の神話を題材とした墨彩画とのコラボレーション。米子市在住の檀田春紀さんと静子さんによる作品展です。静子さんの作品は、擬人化した動物や空想世界の登場人物が、古布などを素材としてユニークに造形されたもので、今回は「おとぎ草子」がテーマ。春紀さんの作品は、古事記や出雲神話をモチーフに、自由な画風で表現した墨彩画と屏風の作品で、「神話」がテーマとなっており、語り伝えられた古き良き山陰をきっと再認識できるはず。

■ 野崎ふしみ和紙アート展

12月14日(水)~2月12日(日) 素鳳ふるさと館



なつかしい温かさの中に秘められた、研ぎ澄まされた美意識……。和紙アートを通じて芸術文化教育の要職を務められ、今や活動の舞台を海外にまで広げ国際交流にも貢献されている野崎ふしみさん(安来市在住)の和紙工芸の作品の数々を展示します。島根県内で生産される和紙を素材とした立体的な作品が特徴で、細くよればよほど強くなる和紙の特性を活かした糸と、「紙布」でできた洋服などの作品は、ひとつひとつが驚くほど繊細で、日本人のこころの琴線に触れるものです。

素鳳ふるさと館(米子市皆生温泉・米子市観光センター1F)
問い合わせ先/TEL 0859-34-2888

■ 年賀状版画コンクール作品募集! 祐生会いの館



南部町緑水湖畔にある「祐生会いの館」では今年も、小中学生を対象に年賀状版画コンクールの作品を募集します。終生、地元から離れることなく孔版画創作に打ち込み、また優れた玩具コレクターでもあった板祐生。毎年寄せられる多くの作品は、その心を未来へとつなぐ素晴らしいものばかり。今年もたくさんのご応募をお待ちしています。(写真は'5年の特撰作品)

- 応募要領/年賀はがきかこれと同じサイズの用紙の版画作品(孔版・木版・ゴム版・イモ版などを問いませんが、等倍および倍率コピーを貼り付けた作品は不可)
- 応募作品は本人の創作で1人1点、未発表のものに限り。 (なお応募された作品はお返しできません)
- 作品には必ず、学校名・学年・住所・氏名を記入のこと。
- 応募締切/18年1月15日(日)必着
- 審査/教育関係者・有識者・および主催関係者等で審査します。
- 応募先 ●〒683-0343 鳥取県西伯郡南部町下中谷1008番地「祐生会いの館」こども年賀状版画コンクール」係宛
問い合わせ ●TEL/0859-66-4755 祐生会いの館